ディスクロージャー実務を支援する
PRONEXUS

平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月31日

上場会社名　株式会社プロネクサス　上場取引所　東
コード番号　7893　ＵＲＬ　http://www.pronexus.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）上野　剛史
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員社長室長　（氏名）大和田　雅博　ＴＥＬ　03-5777-3111

四半期報告書提出予定日　平成25年８月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	7,914	6.0	2,405	△0.4	2,429	0.7	1,528	3.3
25年３月期第１四半期	7,464	△3.4	2,414	△2.6	2,413	△3.0	1,479	2.2

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　1,585百万円（5.7%）　25年３月期第１四半期　1,499百万円（△1.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	46.86	－
25年３月期第１四半期	43.26	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	30,460	22,315	72.8
25年３月期	27,812	21,758	77.8

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　22,181百万円　25年３月期　21,633百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	9.00	－	9.00	18.00
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		9.00	－	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	10,850	2.3	2,050	2.7	2,050	3.0	1,250	2.4	38.33
通期	18,500	2.6	2,000	9.5	2,000	9.8	1,250	7.1	38.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
②　①以外の会計方針の変更　：　無
③　会計上の見積りの変更　：　無
④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	36,327,700株	25年３月期	37,327,700株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	3,883,561株	25年３月期	3,886,061株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	32,610,675株	25年３月期１Ｑ	34,209,506株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。また、第２四半期及び期末の決算について、アナリスト向け説明会を開催しております。決算説明会で配布した資料、説明内容（映像及び音声）を当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）経営成績に関する説明 …… P. 2
（２）財政状態に関する説明 …… P. 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… P. 4
２．四半期連結財務諸表 …… P. 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… P. 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… P. 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… P. 9
（継続企業の前提に関する注記） …… P. 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… P. 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

① わが国経済の状況

当第１四半期連結累計期間（以下、当第１四半期）におけるわが国経済は、昨年来の円安基調を始めとする経営環境の改善を背景に企業業績の回復が続きました。また、当社事業との関連性が高い国内証券市場において、15,000円台まで上昇した日経平均株価は、５月下旬から６月初旬にかけて一時的に急落したものの、13,000円～14,000円台の高水準で推移しました。

② 業績の概況

当社業績への影響が大きい国内上場会社数は、５年にわたり大幅な減少が続きましたが、ＩＰＯの増加もあって当第１四半期は前年同期比約10社減と、下げ止まり傾向にあります。しかしながら、これまでの上場会社数減少と競争激化の影響により、上場会社ディスクロージャー関連製品の売上は減少しました。一方、さまざまなＩＲサービス製品の売上が増加し、投資信託市場・ＲＥＩＴ市場の好況を受けて金融商品ディスクロージャー関連製品の売上が大きく増加しました。また、株式会社日立ハイテクノロジーズの企業財務情報データベース事業の承継等に伴い、データベース関連製品の売上は倍増しました。この結果、当第１四半期の連結売上高は、前年同期比450百万円増（前年同期比6.0％増）の7,914百万円を計上し、第１四半期としては６期ぶりの増収となりました。

利益面では、ＲＥＩＴ、投資信託製品等の受注急増に伴う外注加工費の増加や、2014年１月に開始され、以降の売上増影響を見込んでいる次世代ＥＤＩＮＥＴ対応サービスの先行コスト発生等により、営業利益は前年同期比9百万円減（前年同期比0.4％減）の2,405百万円にとどまりました。経常利益は前年同期比15百万円増（同0.7％増）の2,429百万円、四半期純利益は前年同期比48百万円増（同3.3％増）の1,528百万円となりました。

１）製品別の販売動向

＜上場会社ディスクロージャー関連＞

国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、株主総会招集通知および有価証券報告書等の決算関連の売上が減少しました。一方、株式市場の活況を背景にＩＰＯおよびファイナンス関連製品の売上が増加するとともに、会計連携・開示支援システム「ＷＯＲＫＳ－ｉ」はお客様から好評をいただき売上が増加しました。これらの結果、上場会社ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比79百万円減（同1.8％減）の4,363百万円となりました。

＜上場会社ＩＲ関連等＞

国内上場会社数の減少や競争激化の影響等により、株主向け年次報告書（株主通信）の売上は減少したものの、各種のＷｅｂサービス、株主総会向けビジュアルツール、英文ＩＲツール等の売上が大きく増加しました。これらの結果、上場会社ＩＲ関連等の売上高は前年同期比148百万円増（同7.9％増）の2,031百万円となりました。

＜金融商品ディスクロージャー関連＞

この分野で最も大きく増加したのはＲＥＩＴ関連製品です。昨年来の市況回復を受けて、ＩＰＯ、ファイナンスが増加し、目論見書や販促ツール等の売上が急増しました。また、投資信託市場の活況に伴う受注増、新規市場開拓への取り組みの結果、国内投信についても関連製品の売上が増加しました。また外国投信や外国債券の受注も堅調に推移しました。この結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上高は前年同期比320百万円増（同29.6％増）の1,405百万円となりました。

＜データベース関連＞

株式会社日立ハイテクノロジーズからの企業財務情報データベース事業の承継（本年１月より事業を承継しサービス提供開始）により顧客数が大きく増加しました。またこれに伴うサービス範囲の拡大・機能の拡充により、新たな顧客の開拓も進展しました。これらによる売上の大幅な増加に、少額ながら台湾市場の売上増加を加え、データベース関連の売上高は、前年同期比60百万円増（同112.3％増）の114百万円となりました。

（製品区分別売上）

区分	前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）		当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）		増減（△印減）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	増減率（%）
上場会社ディスクロージャー関連	4,443,002	59.5	4,363,447	55.1	△79,554	△1.8
上場会社ＩＲ関連等	1,882,466	25.2	2,031,147	25.7	148,680	7.9
金融商品ディスクロージャー関連	1,084,890	14.6	1,405,687	17.8	320,796	29.6
データベース関連	53,753	0.7	114,099	1.4	60,346	112.3
合計	7,464,113	100.0	7,914,382	100.0	450,269	6.0

（注）１．金額は販売価格によっております。
２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

２）利益の概況

当第１四半期は、ＲＥＩＴ、投資信託、ＩＰＯ、公告等の受注が急増し、これに伴い外注加工費が増加しました。また、2014年１月のスタートに向けて金融庁が実施した次世代ＥＤＩＮＥＴ総合運転試験関連の顧客向けテストデータ作成費が加わり、売上原価率が前年同期比で2.4ポイント上昇し50.3%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比41百万円増（同1.1%増）の3,933百万円にとどまりました。また、次世代ＥＤＩＮＥＴ対応システムの開発に伴い、本稼働前に先行して発生する運用コストの販管費計上等を主因として、販管費が51百万円増加しました。この結果、営業利益は前年同期比9百万円減（同0.4%減）の2,405百万円となりました。

営業外収益33百万円と営業外費用9百万円を加減し、経常利益は前年同期比15百万円増（同0.7%増）の2,429百万円となりました。税金等調整前四半期純利益は、日本財務翻訳株式会社の100%子会社化に伴う段階取得に係る差益54百万円を加算し、前年同期比69百万円増（同2.9%増）の2,483百万円となりました。一方、四半期純利益は、前年同期比48百万円増（同3.3%増）の1,528百万円となりました。

③ 第１四半期の季節性

当社グループの売上の約75%を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約70%が３月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が集中する第１四半期（４－６月期）の売上が、下表のとおり最も多くなっています。

（参考）平成25年３月期

	第１四半期（４－６月期）	第２四半期（７－９月期）	第３四半期（10－12月期）	第４四半期（１－３月期）	年度計
売上高　（百万円）	7,464	3,137	3,899	3,531	18,031
構成比　（%）	41.4	17.4	21.6	19.6	100.0

（２）財政状態に関する説明

当社の第１四半期は、前述の季節的要因（（１）－③）により、資産合計、負債合計、純資産合計とも、前連結会計年度末に比べ例年大きく増加します。当第１四半期も以下のとおり同様の傾向となっています。

当第１四半期末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,647百万円増加し30,460百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加3,630百万円及び現金及び預金の減少1,027百万円等です。

当第１四半期末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,089百万円増加し8,144百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加763百万円、未払法人税等の増加309百万円、前受収益（流動負債「その他」）の増加564百万円等です。

当第１四半期末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ557百万円増加し22,315百万円となりました。主な要因は、四半期純利益1,528百万円計上による増加と剰余金の配当300百万円及び自己株式の取得749百万円による減少等です。この結果、自己資本比率は、72.8%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

＜当期の見通し＞

平成25年５月７日公表の第２四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,007,547	7,980,507
受取手形及び売掛金	1,678,218	5,308,969
有価証券	4,540,196	4,139,359
仕掛品	229,214	172,089
原材料及び貯蔵品	5,704	6,199
その他	447,693	636,725
貸倒引当金	△2,492	△6,102
流動資産合計	15,906,082	18,237,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,682,881	1,648,370
機械装置及び運搬具（純額）	529,824	506,034
土地	3,887,672	3,887,672
その他（純額）	155,460	139,612
有形固定資産合計	6,255,838	6,181,689
無形固定資産	1,893,339	2,179,313
投資その他の資産		
投資有価証券	2,644,311	2,682,864
その他	1,147,082	1,215,256
貸倒引当金	△34,087	△36,807
投資その他の資産合計	3,757,305	3,861,313
固定資産合計	11,906,484	12,222,316
資産合計	27,812,566	30,460,064

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	449,665	1,213,096
短期借入金	485,000	485,000
未払法人税等	762,380	1,071,511
賞与引当金	450,256	238,713
その他	1,167,322	2,527,999
流動負債合計	3,314,625	5,536,320
固定負債		
長期借入金	375,000	187,500
退職給付引当金	915,142	938,086
役員退職慰労引当金	26,692	28,267
その他	1,423,096	1,454,067
固定負債合計	2,739,931	2,607,920
負債合計	6,054,556	8,144,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,058,650	3,058,650
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
利益剰余金	16,159,098	16,733,895
自己株式	△2,548,792	△2,623,251
株主資本合計	21,352,552	21,852,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,939	328,900
その他の包括利益累計額合計	280,939	328,900
少数株主持分	124,518	134,032
純資産合計	21,758,010	22,315,823
負債純資産合計	27,812,566	30,460,064

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	7,464,113	7,914,382
売上原価	3,572,783	3,981,181
売上総利益	3,891,330	3,933,201
販売費及び一般管理費	1,476,518	1,527,737
営業利益	2,414,812	2,405,463
営業外収益		
受取利息	2,340	2,142
受取配当金	7,532	7,724
設備賃貸料	9,033	9,033
その他	11,659	14,202
営業外収益合計	30,566	33,102
営業外費用		
支払利息	5,576	3,748
設備賃貸費用	2,119	1,907
その他	24,144	3,637
営業外費用合計	31,840	9,292
経常利益	2,413,538	2,429,272
特別利益		
段階取得に係る差益	－	54,000
特別利益合計	－	54,000
税金等調整前四半期純利益	2,413,538	2,483,272
法人税、住民税及び事業税	1,012,116	1,051,808
法人税等調整額	△93,256	△106,253
法人税等合計	918,860	945,555
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494,677	1,537,717
少数株主利益	14,811	9,513
四半期純利益	1,479,866	1,528,203

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494,677	1,537,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,096	47,960
その他の包括利益合計	5,096	47,960
四半期包括利益	1,499,774	1,585,678
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,484,963	1,576,164
少数株主に係る四半期包括利益	14,811	9,513

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

なお、当社は、平成25年３月22日開催の取締役会決議に基づき、当第１四半期連結累計期間において普通株式997,500株、749,934千円の自己株式を取得しております。

また、平成25年５月17日開催の取締役会決議に基づき、平成25年５月31日付で普通株式1,000,000株の自己株式を消却しております。この結果、自己株式及び利益剰余金が675,475千円減少しております。